

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	おおたかの森子ども図書館指定管理者事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び図書館利用者	意図	児童書を中心とした市立図書館の分館として整備し、地域の児童サービスの中心拠点とする。
事業内容	新市街地地区小中併設校である、おおたかの森小・中学校の2階部分に、学校の図書室とは別に児童書を中心とした「おおたかの森こども図書館」を4月1日にオープンした。市立図書館の電算システムでネットワーク化し分館として整備し、指定管理者に業務を委託する。			
事業開始から現在までの状況変化	人口増が著しい新市街地地区に子育て世代が気軽に親子で絵本等を楽しむことができる場となるよう設置した。また既存の図書館と同様に、利用者が自由に検索可能な端末を設置し、一般の方の予約図書の受け取りにも対応するようにした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	主催事業への参加者数			1,420	
②	リクエスト受付件数			1,572	件	↑↑↑	
③	貸出冊数			63,784	冊	↑↑↑	
④	利用者数			12,437	人	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果	オープン当初は書架ががらになる程絵本の貸出しが多く、中央図書館から絵本の補充をした。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 全館の蔵書回転率（貸出点数/蔵書点数）が2.2回に対しておおたかの森こども図書館は7回であった。		
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				11,909,000			
事業費(b)(円)				9,075,000			
うち一般財源				9,075,000			
職員給与費(c)(円)				2,834,000			
人役・職員(人)				0.30			
人役・再任用(人)				0.10			
人役・臨職(人)				0.20			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	オープン後、図書館の場所が解り難い、本が少ない等の意見があったので、改善していきたい。	③取組の課題	貸出が多いため、蔵書数を増やしたい。また、子供向けの事業が好評なため、引き続き子ども向けの事業を継続して開催したい。
②今年度(H27)に実施した取組	土足禁止のため、おおたかの森センターと協力し、下駄箱の横にベンチを置き靴を着脱しやすくしたり、図書館への案内板を作成するなどし、対応した。	④今後の改善計画	補助金で児童書を購入の予定である。子育て関連の資料を購入し充実する。また、雑誌も数誌蔵書として加えていく。